

くるりんこは【きずなループ事業】を推進します

3.11を境に、私たちの価値観が大きく変化しています。中でも環境は重要なテーマとして考えられ、特にエコに対する意識とリサイクルに関する取組みは、国民一人一人にとって身近なものになりました。

これまで日本国内で利用されず輸出されてしまっていた廃電線を、仕事の不足に悩む障がい者施設の安定的な仕事にする【きずなループ事業】の仕組みはそうした中から生まれました。これによって、障がい者の方々の自立支援と、資源の国内リサイクルが促進される事が期待されます。

一般企業では事業採算性の確保が難しく、敬遠される廃電線リサイクルですが、銅は必要不可欠な資源のため「売れない」ということがないので、納期や時間の制約がありません。そのため自分たちのペースで仕事のできる障がい者施設の仕事として、優れた収入源となります。また、障がい者の方の中には類まれな集中力や、単調な作業にもめげない忍耐力をもった方々もおられ、廃電線リサイクルの電線剥離の仕事は、むしろ好ましい仕事ともいえるのです。



ぜひ【きずなループ事業】にご参加ください。

障がい者施設様

【きずなループ事業】にご興味を持たれた障がい者施設様、ぜひお気軽にご連絡ください。事務局の担当員が様々なご相談をさせていただきますので、安心して廃電線リサイクルを作業として導入していただくことができます。

一般企業様

【きずなループ事業】では、リサイクルする廃電線を提供していただける一般企業様を募集しております。詳細は窓口担当員が丁寧にご案内させていただきます。一般企業様の積極的な参加が、地域の福祉環境に明るい光をもたらしますので、ご検討のほどよろしくお願いたします。

きずなループ事業について、さらに詳しくお知りになりたい方は、きずなループ事業公式ホームページ

<http://kizunaloop.com/> きずなループ で検索

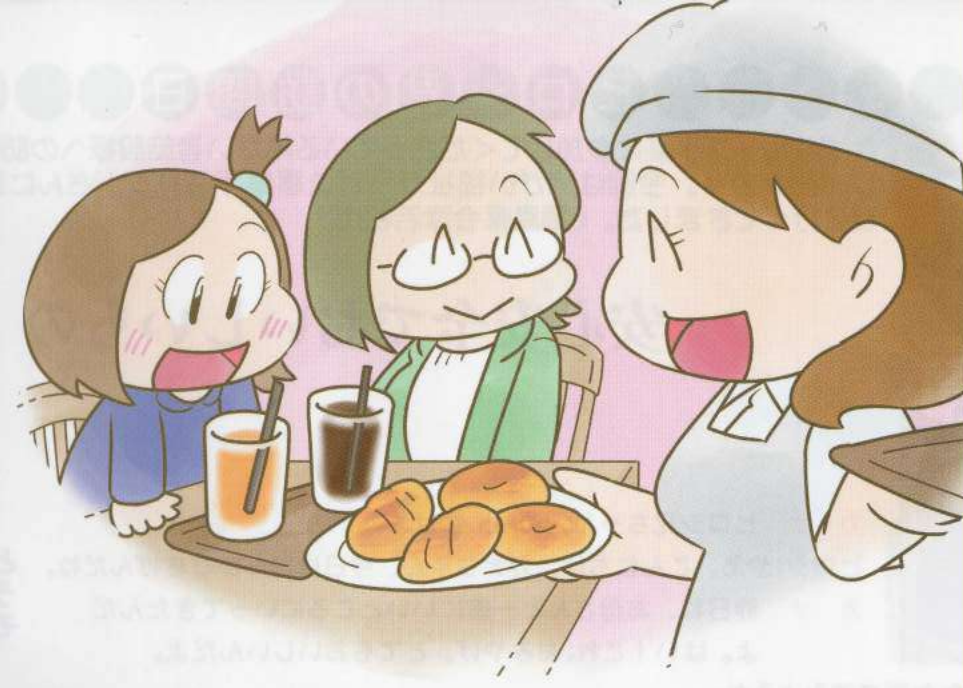
多くの企業様よりご協力をいただきありがとうございます。感謝の気持ちをかたちにして、地域の福祉向上に役立ててまいります。

きずなループ事業は経済産業省平成25年度東日本大震災復興ソーシャルビジネス創出促進事業(ソーシャルビジネス新事業創出事業)採択事業です。

くるりんこ No.04

発行：NPO法人くるりんこ

【本部事務所】
〒966-0086 福島県喜多方市西四ツ谷189番地
TEL:0241-21-9551 FAX:0241-21-9552
【郡山事務所】(きずなループ事業事務局)
〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字宝田46-1
TEL:0120-536-672 FAX:024-953-6769
【ステップボード】(障がい者福祉サービス事業所)
〒969-3537 福島県喜多方市塩川町四奈川字上川原2659番地
TEL:0241-23-7400 FAX:0241-23-7401



【きずなループ事業】にご協力いただいている有限会社良テック様よりうれしいお話をいただきました。

NPO法人くるりんこ 副理事長 福島健一

●障がい者の自立と資源リサイクルを推進する【きずなループ事業】にご協力をいただけるようになったきっかけとご意見をお聞かせください。

送られてきた【きずなループ事業】の案内冊子を拝見したのがきっかけです。見やすくわかりやすく内容がよく理解できたので、少しでも障がい者の力になれるのであれば協力しようと申込書をFAXしました。

当社は学校などの公共事業から商業施設、そして一般の家庭までの空調や電気関係の工事を業務としておりますので、作業後も安心していただけるように、メンテナンスなどのアフターまで、きっちりとした仕事をするように心がけています。

それらの仕事では、廃電線の処理も日常的に発生

していますので【きずなループ事業】で処理可能と思われる細かい廃電線を選んで送っています。

送るといっても、NPO法人くるりんこから届けられたフレコンバッグが廃電線でいっぱいになった



時点で、指定の宅配業者に電話するだけで運んでくれるので、手間がかからないのがいいです。

それに、少しでも社会のお役に立つわけですので、心も豊かになります。これからも積極的に協力したいと考えています。

おいしいクッキーをどうぞ

NPO法人くるりんこが推進する【きずなループ事業】にご協力いただきまして、ありがとうございます。送られてきた廃電線での「銅線剥離エコビジネス」は、障がい者の自立支援や雇用の創出、賃金向上を目的にあり、廃電線をお送りいただいた会社様の広がり大きな動きになっております。

お送りいただいた会社様には、1kgにつき54円(税込)を買取価格としてお支払いしておりますが、障がい福祉サービス事業所「コパン」(会津若松市)で製造販売している「クッキーの詰合せ」も選択できるようになりました。

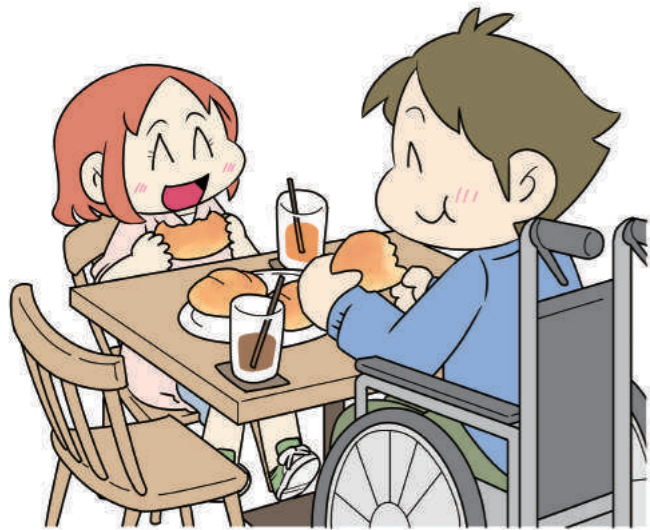
これは「コパン」で働く障がい者の支援にもつながり、さらなる障がい者自立の輪の広がりにもなりますので、これを機会にぜひ「コパンのクッキー詰合せ」を、会社の皆様でお楽しみいただけますようお勧めいたします。



●写真はイメージです



きずなループ事業に参加して下さっている障がい者施設様への訪問レポートです。今回は障がい福祉サービス事業「コパン」さん遊びに行ってきました。(福島県会津若松市)



安心安全でおいしいもの

カナ: ヒロシ兄ちゃん、こんにちは!
ヒロシ: やあ、こんにちは。カナちゃん、今日はなんかごきげんだね。
カナ: 昨日ね、お母さんと一緒にいいところに行ってきましたよ。はい! これ、おみやげ。とてもおいしいんだよ。

ヒロシ: よ〜し、カナちゃん。どこに行ったか当ててみようか。
カナ: うん、うん。ど〜こだ?
ヒロシ: そこはね、とっても明るいお店で……、窓の外はみどりの芝生がきれいで……、おいしいパンがたくさんあるところだね。
カナ: え〜! え〜! どうしてわかったの? 【コパン】だって……? お母さんに聞いたの? も〜! お母さんったら。カナには家のことはあまりお外では言わないようになってるくせに。だから、お母さんが太ったからって、お父さんに内緒でお洋服買ったのも黙ってたのに!
ヒロシ: お母さんに聞いたんじゃないだよ。カナちゃんのおみやげのこのお菓子は【コパン】さんの人気のお菓子だから、きっとそうじゃないかと……。

カナ: かわいいお顔のお菓子、カナ大好き!
ヒロシ: これは「にこまる」って言ってね、枝元なほみさんと一緒につくったお菓子なんだ。
カナ: えだもと…なほ…み…さん?
ヒロシ: ホームレスの人たちに食事を提供したり、社会活動している人なんだよ。その方とご縁があって一緒につくったんだって。

カナ: ねえ、なんでヒロシ兄ちゃんは「にこまる」のこと知ってるの?
ヒロシ: 実はね、この間【コパン】さんに行ってきたんだ。僕が行ってる障がい者支援施設「くるりんこ」で【銅線剥離エコビジネス】の仕事してるのは知ってるよね。
カナ: うん。たくさん会社さんから電線を送っていただいて、応援してもらってるって、ヒロシ兄ちゃんがよくてたよ。

ヒロシ: そうなんだ。室内で作業ができるから、季節や天気に関係なく仕事ができる【銅線剥離エコビジネス】に、多くの会社さんから廃電線を送っていただいて、障がいのある僕たちに、とてもうれしいことなんだ。

カナ: よかったね。
ヒロシ: だから廃電線を送っていただいている会社の方々に、これから【コパン】さんのおいしいクッキー詰合せを、お礼のひとつにしようとお話に行ったんだよ。

カナ: お母さんが【コパン】でも、ヒロシ兄ちゃんのように障がいのある人たちがたくさんいて、パン屋お菓子をつくらってるんだって言ってたけど……

ヒロシ: そう。正しくは「障がい福祉サービス事業所・コパン」が正しいお名前前で、就労継続支援 A 型事業や就労継続支援 B 型事業、生活介護事業をお仕事にしているんだ。カナちゃんにはちょっと難しいかな。いろいろな理由があって、みんなと一緒に仕事や生活するのが苦手な人たちが、頑



さあ、みんなで楽しもう!

張って生活できるように練習や勉強をする施設だよ。

カナ: ……………?
ヒロシ: じゃあ、カナちゃんでもわかることを教えてあげる。「コパン」って、なんのことか知ってる?

カナ: こ・ぱん……? ん〜? あっ! わかった! 小さいパンでしょう。子供のパンだから、こぱん……。

ヒロシ: なるほど、おもしろいね。でも違うんだな。「一緒にパンを食べる仲間たち」のことを、フランスの言葉で「コパン」って言うんだって。

カナ: へ〜、仲よしのお友達のことなの?
ヒロシ: そんな意味もあるかもしれないね。一緒においしいものをつくったり、食べたりすると仲よしになるもんね。

カナ: うん。お母さんなんか、そんなに怒っていても、なんか食べるとすごくニコニコになるよ。

ヒロシ: ところでカナちゃん。この間【コパン】では何を食べたの?

カナ: おいしかったよ! トマトのハンバーガー。また食べた〜!

ヒロシ: おっ、いいね。トマトバーガーだね。【コパン】さんでは、同じ敷地でお野菜もつくって、そのお野菜が一番おいしいうちに、サラダにしたりとかパンに挟んだりして出してくれるからおいしいんだよ。

カナ: お母さんがソースもおいしいおいしいって食べてた!
ヒロシ: トマトバーガーのミートソースも手づくりだからね。おいしくて当たり前だね。

カナ: もっとおいしいものを出すといいね。
ヒロシ: どんどん出るよ。だって、いつもみんなで新しい商品を考えてみたいだよ。ただ、みんながいいって言う商品でなきゃお店では売らないんだって。

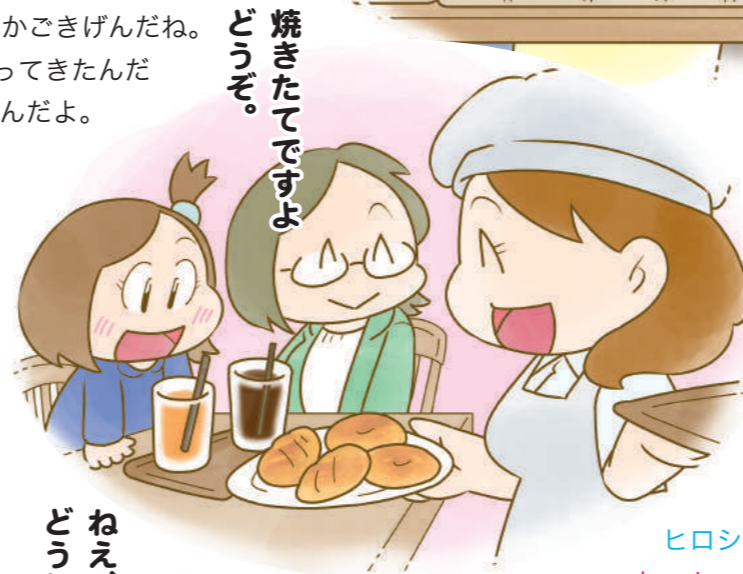
カナ: じゃあ、またお母さんに連れて行ってもらおうと!
ヒロシ: そうだね。【コパン】さんにはいつもだいたい 30 種類くらいのパンと 15 種類くらいのお菓子があるんだけど、その他に季節ごとのおいしい野菜を使ったパンとか、クリスマスやハロウィンなどのイベント用の商品がお店に並ぶんだって。

カナ: わ〜! 楽しいね。それじゃあ毎日行かないと……
ヒロシ: う〜ん。それはお母さんが許すかどうかだね。でもいつもおいしいものが食べられるって、うれしいよね。

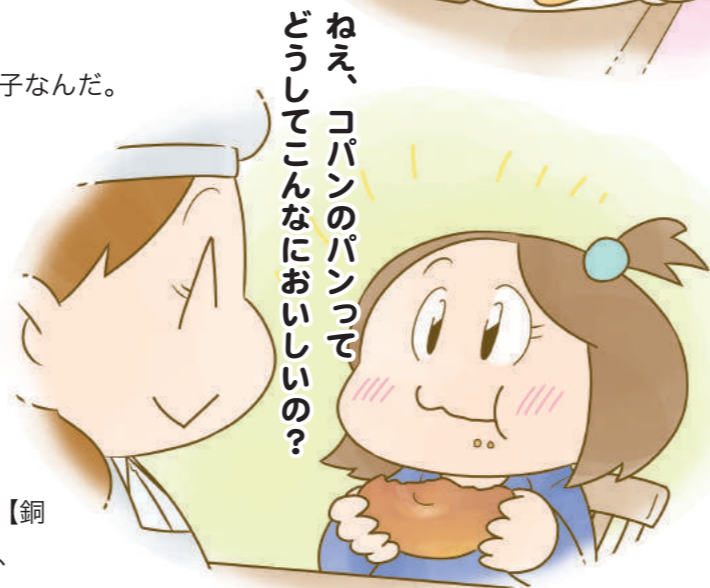
カナ: それじゃあ、ヒロシ兄ちゃん達がお仕事にしている【銅線剥離エコビジネス】に、使えなくなった電線を送ってくれたみんなも【コパン】のおいしいお菓子が食べられるんだね。きっとよこぶね。
ヒロシ: そうだね。【コパン】でお仕事している障がいのある人たちも、みんなうれしいね。

カナ: やったー! みんな「にこまる」見たいな顔になるんだ。ニコニコでまんまるの顔だから、お母さんの顔とそっくりになるんだ。

ヒロシ: ……………。



焼きたてですよ。どうぞ。



ねえ、コパンのパンってどうしてこんなにおいしいの?



新鮮で安心な材料とお客様の笑顔がおいしさのハーモニーになります。

